

令和 6 年第 8 回久米島町議会定例会一般質問

令和6年12月10日～12月13日

令和6年第8回12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. 道路行政について	12月10日(火)
		2. 農業用水対策について	
		3. 久米島の観光振興について	
2	盛本 實	1. 10年後の農業経営環境はどうなる	
		2. ゼロカーボンシティ宣言その後	
		3. 幼小中学校適正規模・適正配置における調査研究について	
3	吉永 将志	1. 第二次久米島町地域福祉推進計画について	
		2. 障がい者支援について	
		3. ふれあい公園と仲里公園に時計設置を	
		4. 高齢者の移動手段確保について	
		5. 久米島女性会について	
4	喜久里 強	1. 今後の久米島の農業について	12月10日(火)
		2. これからの観光久米島に求められること	
5	赤嶺 秀徳	1. 行政懇談会について	
		2. 議会からの提言について	
		3. 農道整備について	
		4. 横領事案について	

令和6年第8回12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	棚原 哲也	1. 海洋深層水について	12月11日(水)
		2. 奥武島西海岸及びイーフビーチの環境保全について	
2	真栄平 建正	1. 行政懇談会について	
		2. さとうきび振興について	
		3. 行政サービスについて	
		4. 仲里運動公園の整備について	
3	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について	
		2. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	
		3. 子ども議会での赤土対策の質問から	
4	田端 努	1. 本町の地域防災計画の見直しの進捗状況について	12月11日(水)
5	新垣 幸子	1. 防災訓練について	
		2. 南西諸島軍事要塞化の動きについて	
		3. 高校魅力化事業と考える会の運営について	
		4. PPP導入可能性調査事業について	
		5. 猫の繁殖抑制事業について	
		6. 離島甲子園について	

令和6年第8回12月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	保久村 登	1. 仲里幼稚園再開準備作業について	12月12日(木)
		2. 老人福祉問題について	
2	富永 肇	1. 人口減少について	
		2. 離島留学制度について	
		3. マイナンバーカードについて	
3	喜久里 猛	1. 阿嘉のヒゲ水について	
		2. 旧下阿嘉集落の歴史遺産について	
		3. アメリカスズメウリについて	

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
6	幸地 猛	1. 道路行政について	(1)最近大型車両が増えて県道に凹凸や亀裂が生じている箇所が見受けられる。補修について県と調整して早期に整備する考えはないか。 (2)真我里から謝名堂にかけて、歩道整備がされていない箇所がある。以前から取り上げられている事項である。県に早期に整備を要請する必要があると思うがどうか。 (3)車道外側線についても交通安全の面から整備をする時期ではないかと考える。車道外側線を整備する時期の判断はあるか。また、他の市町村では横断歩道のカラー化がされているが、久米島町でも取り組み出来ないか。 (4)仲里石油商会前交差点の信号機の設置について。 (5)毎年度県土木建築部と南部市町村との行政懇談会が開催されている。久米島町の要望事項と、県の対応について伺う。	町長	(1)県道の損傷等につきましては、県に報告し補修依頼をしておりますが、予算確保が厳しいことから遅れている状況であります。早期に補修するよう引き続き要請してまいります。 (2)ご質問の箇所につきましては、用地取得と物件移転が難航し歩道整備がされておりません。早期に整備するよう要請してまいります。 (3)車道外側線については、道路管理者が整備することとなり、外側線が見えにくい箇所については県に対して要請しております。横断歩道のカラー化につきましては、横断歩道の視認性が上がり事故減少に繋がるようですので、他市町村の整備状況を参考に検討してまいります。 (4)仲里石油商会前交差点については、幹線道路となっており交通量の多い箇所となっております。横断歩道は設置されておりますが、今後信号機設置について、別箇所の要望も含め関係機関へ働きかけてまいります。 (5)行政懇談会への要望事項は、県道の謝名堂から真泊間の事業化とイーフ地区の早期完成及び兼城港湾の駐車場整備、荷捌きエリアの雨水滞留対策を要望しております。県の対応につきましては、事業化及び予算確保に努めるとの回答でありました。	(1)(2)(3)(5)建設課 (4)総務課
		2. 農業用水対策について	10年安心して農業が出来るようにするには、農業用水の確保が求められるという。旧仲里村地区でスプリンクラーの水が出ないことが多い。常時安心して水が使用できる体制が出来ないか。また、その原因にダム・ため池の貯水量との関連もあると思う。そのためには、定期的にダム・ため池の貯水量の現状調査をし、問題点があれば、その対策も検討する必要があるかと思うが。	町長	農業用水につきましては、旧仲里村地区は施設の老朽化等やタイ原池が利用できないことから、供給に支障がでています。安定供給に向けて、土地改良区と連携して取り組んでまいります。他の地区につきましては、給水施設を整備するなど対策を講じております。農業用水の確保やダム・ため池の活用策については、関係機関と連携し、農家の安定経営に向けて取り組んでまいります。	建設課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 久米島の観光振興について	第3次久米島町観光振興基本計画が策定されスタートしています。計画の推進体制について、観光客と島民が共に考え、新しい取り組み・活動を生み出す「共創ツーリズム」を目指していくという。6つの柱を立てて各施策、役割分担が整理されています。次の事項について具体的な取り組みを伺います。 (1) 島へのアクセス、島内交通の充実について (2) 魅力ある景観・まちづくりの推進について (3) インバウンド受け入れ体制の充実について	町長	(1) 島へのアクセス、町内交通の充実に関しましては、引き続き、羽田直行便やその他の地方空港からのチャーター便の誘致、県内離島との路線開設に向けて、関係機関と連携した取り組みを進めるとともに、船旅の魅力についても情報発信し、需要創出を図ります。また、町内交通については今年10月に民間事業者による一般旅客貸切自動車、いわゆる貸切バスの運行開始により、修学旅行等の団体旅行の受入が可能となっています。今後は路線バスやタクシー、レンタカー等、既存の交通サービスとの連携を促しつつ、新たなモビリティサービスの導入の検討など、多様化する旅行需要に対応できる交通体系の構築に努めます。さらには、アプリを活用したガイドマップの充実を図ることで、旅中(タビナカ)における交通情報へのアクセス性の向上を図るなど、旅行者にとって快適な交通サービスの充実に努めます。 (2) 魅力ある景観・まちづくりの推進に関しては、同計画の方針に基づき、久米島らしい景観や雰囲気などを活かしながら、古民家や集落を拠点とした体験プログラムの実施を推進してまいります。 (3) インバウンド受入体制に関しては、令和元年10月から令和4年度末までの間、地域おこし協力隊として担当職員を配置し、主な活動として、インバウンド関連の問い合わせへの対応、観光情報や観光パンフレット、観光地の案内板の多言語化、飲食店のメニューの多言語化支援に加え、多言語アプリを活用した事業者向けのインバウンド対応講座を実施し、ソフト面での対応力強化を図りました。また、フェリーで来島する外国人観光客へのヒアリングを実施し、インバウンドの実態や動向把握に努めました。今後は、同計画に基づき、外国語対応ができる人材の確保の観点から、次年度において、JETプログラムを活用した国際交流員(CIR)の配置に向けて調整を行っております。	商工観光課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
8	盛本 實	1. 10年後の農業経営環境はどうなる	近年、本町の農業経営環境は大きく変化しています。特に高齢化や人口減少に伴う農業従事者の減少が激しく、農林業センサスのデータによると平成22年度から令和2年度迄の10年間で約200余の農業経営体数が減少しております。これまでの推移からすると、今後の農業を取り巻く環境の悪化は避けられないのではないかと、先行き不安を感じている方々が多いです。 行政として、10年後の農業の将来像をどの様に想定しているのか。又、その時点で起こり得る課題についての対処をどの様に考えているのか伺う。	町長	10年後の農業の将来像につきましては、農業従事者が減少する中、農家1戸当たりの営農面積の増加や、法人による農地の集約と経営の規模拡大及び新規法人設立等が想定されます。 起こり得る課題としましては、営農面積の増加や経営の規模拡大に伴う労働力の確保の問題や、農地集約が適正になされるか等が懸念されます。 労働力確保の対策としましては、スマート農業を推進し、作業効率の向上及び省力化を図ります。また、農地集約につきましては、現在作成している地域計画を踏まえ、個人及び法人等が希望する農地の集約に向け取り組んでまいります。	産業振興課
		2. ゼロカーボンシティ宣言その後	本町では、県内他自治体に先んじて令和3年1月22日に「久米島町ゼロカーボンシティ」宣言を行っておりますが、その後の取り組みについて伺う。	町長	本町では、令和2年3月に「久米島町エネルギービジョン2020」を策定した後に、ゼロカーボンシティ宣言を行っております。 町内の電力はほぼ沖縄電力久米島発電所により供給されており、宣言を達成するためには、再生可能エネルギーの導入によるエネルギー自給率の向上を図ることが必要不可欠です。 本ビジョンでは、本町に導入可能な再生可能エネルギーについて、社会動向や導入可能量、好適性などを整理し、どのような優先順位で導入を進めたらよいかを検討、評価しております。 評価の結果、本町において優先して導入すべき再生可能エネルギーは、屋根上設置の太陽光発電と陸上OTEC設備としており、次に今後普及が見込まれている電気自動車及び定置型蓄電池の普及を促進することとしています。 「ゼロカーボンシティ」宣言後の取組としましては、海洋深層水取水大規模化の推進、公共施設への太陽光発電の導入や電気自動車購入費補助を実施しております。	プロジェクト推進課
		3. 幼小中学校適正規模・適正配置における調査研究について	同調査研究の進捗状況について。今後の取り組みについて伺う。	教育長	幼小中学校適正規模・適正配置における調査研究を継続しながら、久米島町学校統廃合・再編計画策定業務委託の発注に向けて準備を行っております。 現在の予定では、年内で優先交渉権者の選定後、令和7年1月上旬に契約を予定しています。当初予定より遅れておりますが、速やかに業務に着手できるよう努めてまいります。	教育課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
9	吉永 将志	1. 第二次久米島町地域福祉推進計画について	総合計画の下位計画にあたる第二次久米島町地域福祉推進計画、評価体制を伺う。 (1)本計画は令和4年～令和8年の計画。評価は行っているか。 (2)今後の評価体制・スケジュールを伺う。	町長	(1)第二次久米島町地域福祉推進計画の評価につきましては、今年度においても評価体制を組むことは非常に厳しい状況にありますが、地域福祉推進計画に関連する自立支援会議や下位計画にあたる久米島町子ども・子育て支援事業計画のニーズ調査及び計画策定会議を通して、事業取組状況を把握していくところです。また、全体的な成果等における点検を福祉課と社会福祉協議会で実施したいと考えております。 (2)今後の評価体制・スケジュールとしては、令和7年度と令和8年度の2年間かけ第三期久米島町地域福祉推進計画策定に向け、取り組むこととなりますので、評価・点検の実施や施策の見直し、ニーズ調査及び計画策定委員会の実施などを予定しております。	福祉課
		2. 障がい者支援について	久米島は障がいの分野においてサービス体制が整っているとは言えない。まずは町民に対しての普及啓発が必要だと考える。 (1)年間を通してどのような普及啓発をされているか伺う。 (2)今後の課題解決に向けた取組方法と目標を伺う。	町長	(1)障がい者支援の啓発につきましては、広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めることを目的とし、障がい者週間にポスター等の掲示をしております。また、窓口においては、対象者の世帯状況等に寄り添った相談体制を構築し、各種サービスに繋げております。 (2)課題解決に向けた取り組みとして、啓発期間において、町広報誌やホームページに関連する記事の掲載、ポスターの掲示等により理解促進を図ってまいります。また、関係機関及びサービス事業者と連携し、地域における理解・啓発活動の充実を図り、障がい者も共に暮らす共生社会を推進してまいります。	福祉課
		3. ふれあい公園と仲里公園に時計設置を	(1)今後、時計の設置は可能か伺う。 (2)設置費用と設置後にかかる費用を伺う。	町長	(1)公園への時計設置につきましては、利用者の利便性向上という観点から検討は必要ですが、設置費用のみならず維持管理など、設置に向けては課題があると認識しております。 (2)設置費用につきましては、工法や設置場所の状況により金額は違います。また設置後にかかる費用は電気代やメンテナンス費用が考えられます。	環境保全課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. 高齢者の移動手段確保について	人口動態を見ると10年後、後期高齢者が急増する。 (1)今後の支援体制を地域公共交通会議などでどのような方向性で検討されているか伺う。	町長	(1)今後の人口動態において、高齢者の急増が予測されていることは、地域社会にとって重要なテーマであり本町としても課題解決に向けて取り組んでおります。久米島町地域公共交通会議では、目的として地域における需要に応じた住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議しております。 具体的には町営バス利用に際し本町に住民票を有する75歳以上の町民については、使用料の免除を行っております。また、今後においてデマンド交通等の確保に向けて検討し、高齢者が安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、地域の皆様のご意見を伺いながら支援体制の構築に努めてまいります。	商工観光課
		5. 久米島女性会について	久米島女性会はこれまで様々な貢献をしてきた。現在、臨時役員会や集会場所がないとの声がある。 (1)臨時役員会や集会場所の提供は出来ないか伺う。	教育長	事前予約により、具志川農村環境改善センターの農事研修室や2階会議室の使用が可能です。	教育課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	喜久里 強	1. 今後の久米島の農業について	去る11月12日の久米島子ども議会の中で子ども議員が赤土問題を取り上げた。的を得た質問に感銘を受けました。その答弁の中で久米島町の農家戸数は611戸と答弁しています。その中で伺います。 (1)農家の平均年齢と作物の種類・割合を伺う。 (2)農業従事者の高齢化と減少に伴い、農地の集約と法人化も考慮する時期に来ていると考えられる。今後来るべき日に向け、試験的に集約農地を設定したモデル区域にサトウキビ等を生産してみる考えはないか伺う。 (3)「地産地消」より「地消地産」を推進したらどうか。	町長	(1)農家の平均年齢につきましては、66歳となっております。作物の種類としましては、さとうきび、野菜、花卉及び肉用牛となっており、生産額に対する割合としましては、さとうきび48.2%、野菜8.1%、花卉15.9%、肉用牛27.8%となっております。 (2)今後の本町の農業を推進するためには、農地の集約と新規法人の設立は必要だと考えております。農地を集約し、大規模経営が可能かどうか、関係機関とも意見交換のうえ検討してまいります。 (3)地域内で消費するものを地域で作る地消地産は、「地域で消費されているもの＝地域のニーズ」との考え方となります。地消地産の推進につきましては、新たな作物の生産に繋がる可能性もありますので、関係機関とも意見交換のうえ検討してまいります。	産業振興課
		2. これからの観光久米島に求められること	(1)外国人観光客の増加に伴い、英語・中国語等の通訳が島内にいるか伺う。 (2)観光地、観光資源の美化、保全はどういう状況か伺う。	町長	(1)現在、町内における通訳人材について、町で確認したところ、英語通訳可能な方が8名程度いらっしゃるとのことでした。中国語については把握しておりませんが、中国語圏からの来島する観光客の動向を見ながら、必要に応じて対応してまいります。 (2)観光地、観光資源の美化、保全に向けた取組として、観光協会が主導し、ビーチクリーンなどの観光地美化活動を実施しております。また、町が主体となって、観光地等環境美化強化事業を実施し、観光地における美化、景観維持に努めています。	商工観光課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
12	赤嶺 秀徳	1. 行政懇談会について	9月議会において同僚議員から行政懇談会開催についての質問に対して、今年度なるべく早い時期に開催したいと考えている。町民の皆様からいただいたご意見などについては、広く周知すること大変有意義なことだと思っております。広報誌も含め検討してまいります。などと答弁しています。 3点伺う。 (1)今年度なるべく早い時期に開催したいと考えているとのことであるが、開催する計画はあるか伺う。 (2)開催するならいつごろか。しないならその理由を伺う。 (3)町民からの意見、要望等質問に対して広報誌への掲載も検討すると回答しているが、掲載について検討したか。検討したのであればその結果について伺う。	町長	(1)地域行政懇談会につきましては、取り組みが遅れておりますが、開催を予定しております。 (2)開催時期については、12月19日と20日を予定しております。 (3)今年度においては、2箇所で開催を予定しておりますが、その懇談会で出たご意見、要望等をまとめたうえで、町広報誌に掲載したいと考えております。	総務課
		2. 議会からの提言について	令和5年7月に開催された「令和5年度久米島町議会報告会・意見交換会」における町民から意見・要望があった件について、議会では6件にまとめて町に必要な取り扱いをお願いした。6件の結果について伺う。 (1)松くい虫対策についての結果を伺う (2)畜産の支援についての結果を伺う (3)民生委員の担い手不足解消についての結果を伺う (4)久米島斎場焼却炉稼働拡充についての結果を伺う (5)離島留学制度の拡充についての結果を伺う (6)久米島町歌・久米島町音頭の普及についての結果を伺う	町長	(1)松くい虫による被害については、防除対策及び危険木対策等、関係課において連携し、それぞれの部署で対策に取り組んでおります。発生当初から現在までの伐倒本数は2,528本で薬剤の樹幹注入を2,457本の松に実施しております。 (2)畜産の支援につきましては、飼料高騰対策としまして畜産農家90戸、2,038頭に対し飼料購入補助を行っております。また、優良繁殖雌牛導入事業で56頭の導入、優良雌牛自家保留支援事業で98頭の自家保留牛に対しての支援及び繁殖雌牛共済掛金について農家87戸に助成を行っております。 (3)令和5年度新たに2名確保しておりますが、未だ定数に達しておりません。令和7年度には改選も行われますので、引き続き、関係機関と連携を図り民生委員の確保に努めてまいります。 (4)火葬場の2炉同時稼働につきましては、運転コストや不測の事態を考えた場合、現在の交互稼働が最も適しており、また、同時稼働への改修等を実施する際にも多額の費用が必要となります。今後も利用者に寄り添った対応を心がけ、ご理解を頂けるよう取り組んでまいります。	(1)環境保全課 (2)産業振興課 (3)福祉課 (4)環境保全課 (5)企画財政課 (6)総務課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					(5)ご質問の主旨は、離島留学生受入人数の増加についてのことと思われますが、新たな寮の整備は係る費用及び管理、運営面から厳しい状況にあります。 拡充の方策として今年度から親子で移住し、久米島高校に入学する保護者に対する経済的支援を準備しております。今年度は利用者がおりませんでした。次年度募集の取り組み時から支援制度の周知に努めたことで、親子移住を検討している保護者が出ております。今後も周知を強化するとともに、他の自治体の好事例などの情報も収集し、改善に努めてまいります。 (6)久米島町歌及び久米島町音頭につきましては、久米島まつりや新年会等で披露するなど普及活動に取り組んでおり、直近では町民運動会においてもプログラムに組み入れており、町民の皆様に浸透するよう引き続き、普及啓発活動に積極的に取り組んでまいります。	
		3. 農道整備について	儀間・嘉手苅地区には非舗装の農道が他の地域に比べて多いと感じる。特に土地改良地区内の非舗装が顕著である。 2点伺う。 (1)儀間・嘉手苅地区内における舗装計画はあるか。 (2)儀間・嘉手苅地区の土地改良地域に未舗装の農道が多い理由は何か伺う。	町長	(1)儀間・嘉手苅地区の舗装計画につきましては、町が策定した中長期事業計画では、令和15年度から実施予定となっております。営農活動に支障があり早急に整備が必要な農道については、対応を検討してまいります。 (2)儀間・嘉手苅地区の未舗装農道が多いことにつきましては、土地改良の区域面積が広く農道も他地区に比べ多くあることが要因と考えております。	建設課
		4. 横領事案について	本町において発生した業務上横領事案について、これまで度々質問して来た。 3点伺う。 (1)被害金額4,104万円の内、回収した金額を伺う。 (2)当事者の住所または住居の確認は行われているか伺う。 (3)顧問弁護士とどのような連携を取っているか伺う。	町長	(1)回収金額は、平成30年・令和元年から変更はございません。 (2)元職員の住居の確認まではできておりません。 (3)顧問弁護士との連携については、債権回収の委任事務を行っており引き続き、回収の方法等に相談していきたいと考えております。	総務課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
1	棚原 哲也	1. 海洋深層水について	深層水の揚水施設の増設について町として国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアムを中心に国、県、関係機関へ事業導入に向け働きかけ、日量10万トン揚水の規模での可能性調査、又、経済効果の調査を国の予算で平成29年度に実施しているが、調査の結果、町の方向性は確定しているのか。 (1)揚水量の当初及び最終的な計画は。 (2)小口径の揚水管を利活用した場合の総費用、及び最終的な10万トン揚水に係る必要予算の想定額について伺う。	町長	(1) 令和5年10月に「海洋深層水活用・漁業用施設整備全体計画」を取りまとめておりますが、当初、この調査結果から、日当たり10万トンの大口径1本と、日当たり3万トンの小口径の複数系統の取水管を整備する方針とし、大口径については技術的な課題があるため、小口径の取水管整備に向けて関係者と意見交換を進めていくこととしておりました。 一方で、本町の全体計画策定とは別に、民間事業者が実施している実証事業の延長で、大口径取水管に関する事業取りを行う構想もあります。この民間事業者とは定期的に情報共有を行っていますが、令和6年度に入り調整を行う中、大規模取水が実現した場合、深層水の活用など町と共同で進めなくては取配水事業等に影響がでることから、連携してほしいとの要望もありました。大口径管の導入に関してはこれまでに説明してきたとおり技術的な課題がありますが、この実証事業が大口径敷設の技術革新につながることを期待し、行政として出来るサポートをしております。最終的な計画の変更はありませんが、「久米島モデル」の実現に向けて協力、連携することとしております。 (2)全体計画では、小口径の取水管を利活用した場合の総費用は、148億円で内訳として取水管54億円、表層水34億円、着水槽、取水槽、プラント整備で33億円、陸上配水管15億円、使用後の排水管で12億円となっております。大口径の整備に係る概算事業費としては総費用294億で、養殖池の整備を加え、総費用の想定額は465億円となっております。	プロジェクト推進課
		2. 奥武島西海岸及びイーフビーチの環境保全について	奥武島西海岸の砂洲の移動が近年、非常に顕著になっている。今年は海中道路まで迫っており、奥武島にある船着き場を利用している漁業者の船の航路(水路)の維持が出来ず、漁業活動に支障をきたしている。早期に対策をする必要がある。又、イーフビーチにおいてボランティアの方たちが拾い集めた海岸漂着ごみ等が長期間集積放置された状況にある。行政としての対応策を伺う。	町長	奥武島の船溜まりにつきましては、漁港施設ではないため航路浚渫等の予算確保が厳しい状況です。久米島漁協や利用者に対しては、仲里漁港の利用をお願いしております。 イーフビーチ周辺の海岸漂着ごみにつきましては、清掃後に連絡があったものについては速やかに回収を行っておりますが、連絡がないものについては、把握ができずに放置される場合があります。今後、関係課で協議し、長期間の放置状態にならないように対応してまいります。	建設課 環境保全課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	真栄平 建正	1. 行政懇談会について	行政懇談会は町民の意見を直接聞き、行政に反映させる最も重要な事業と考える。そのような観点から次の点について伺う。 (1) 行政懇談会のメリット、デメリットをどのように考えているか伺う。 (2) 行政懇談会を開催しない理由は何か伺う。 (3) 今後の開催する計画はあるか。あるのであれば時期、場所、方法について伺う	町長	(1) 町民の声を直接聞くことができる大変貴重な場として考えております。 (2) 開催が実施できていないことについては、取り組みの遅れとなっております。 (3) 開催時期については、12月19日と20日の両日、2箇所で開催したいと考えております。	総務課
		2. さとうきび振興について	化学肥料等生産経費の高騰により農業経営のきびしい状況が続いている。今できる支援策を早急に講じる必要がある。 (1) 堆肥センターの生産管理、品質管理の改善状況を伺う (2) 堆肥センターの経営状況と黒字化採算性への取組状況と課題について伺う。 (3) ハーベスター高単価は今のままでいいのか、改善が必要か。見解を伺う。 (4) 単価低下に向けてのハーベスター事業者、生産者の必要な取組はどのようなことがあるか伺う。 (5) いしぐーによる酸度矯正効果の実証実験の結果、効果発現に関して専門書、文献はどのような記述となっているか伺う。	町長	(1) 堆肥センターの生産管理、品質管理の改善状況につきましては、水分計を購入し、水分管理を行っております。また、有識者からアドバイスを頂き、従来の生産方法とは別に、新たな実証試験を行っております。 (2) 堆肥センターの経営状況につきましては、昨今の燃料価格等の高騰を受け厳しい状況となっております。黒字化への課題につきましては、堆肥の安定生産の確立と、販売価格の見直しが必要だと考えております。堆肥の生産期間を短縮し、増産するとともに、販売価格の見直しについて農家への理解が得られるよう事業者と意見交換を行ってまいります。 (3) ハーベスター単価につきましては、行政として単価を指示することはできませんので、ハーベスター事業者と意見交換を行ってまいります。 (4) 生産農家につきましては、単収を上げるための肥培管理を適宜適正に行う必要があるとともに、ハーベスターでの刈り取りに対し、植え付け時の畝幅を150cm程度とること及び畑と道路等の境界付近まで植え付けを行わないことなど、作業がしやすい場所となるよう取り組む必要があります。ハーベスター事業者につきましては、ほ場からほ場への移動距離を抑え、計画的に刈り取りが行えるよう農家及び久米島製糖との連携が必要となります。 (5) いしぐーによる酸度矯正につきましては、令和5年5月のいしぐー散布前の土壌でpH5.1の土壌が、いしぐー散布後の令和6年3月にはpH5.0と効果は見られませんでした。令和6年7月にはpH5.7、令和6年11月にはpH6.3と効果が見られております。文献につきましては、石灰岩碎石による	産業振興課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
					酸度矯正効果は持続性が高いとの記述となっております。	
		3. 行政サービスについて	(1)町民の町への申請書提出時の町発行証明書貼付を廃止すべきと考えるが見解を伺う。 (2)路線バスの回数券導入、久米商船切符購入時のクレジットカード等利用への取組が必要と考えるが見解を伺う。その他行政上クレジットカード等の利用可能とする計画があるか伺う。 (3)ホテルドームのバス停設置の進捗状況を伺う。 (4)FM放送難聴地域の解消計画について伺う。	町長	(1)町発行証明書貼付の廃止につきましては、関係各課において、必要な調査等をおこない、内部調整による添付書類の省略及び公用証明書添付での代替が可能かどうか検討してまいります。 (2)路線バス回数券の導入に関しましては、委託予定である民間事業者と調整中であり、今年度開催予定の久米島地域公共交通会議へ提案し、回数券の導入を予定しております。また、久米商船へ聞き取りをしたところ「検討中であるが時期は未定である。」との回答を得ており、導入に向けて連携してまいります。その他行政上のクレジットカード決済に関しては導入に掛かる初期費用や手数料等を含め検討してまいります。 (3)ホテルドームへのバス停設置につきましては、これまで実車でのルート確認やダイヤの調整、久米島町老人クラブ連合会との調整を重ねてきておりますが、現路線の変更やダイヤの見直しにあたり、現状での車両、運転手の配置や新設ダイヤの利便性の点で対応が厳しい状況にありますが、引き続き、高齢者の免許返納対応として検討してまいります。 (4)FM放送難聴地域の解消に向けて、FM久米島の意向としましては、インターネットを活用した媒体から視聴していただきたいとの意見でありました。既設の施設整備では広範囲に電波が届くよう特例の電波出力を認めていただいたことから、追加の整備はきびしい状況にあります。FM久米島の意向を尊重しつつ、新たな技術がないか情報収集に努めてまいりたいと考えております。	(1)町民課 (2)(3)商工観光課 (4)企画財政課
		4. 仲里運動公園の整備について	(1)健康増進のための、外周のアンツーカー舗装整備を必要と考えるが見解を伺う。 (2)島内の競技力向上のためには400mトラックの整備が必要と考えるが見解を伺う。	町長	仲里グラウンドは地域のスポーツ振興や健康増進に寄与する重要な施設であると考えます。しかし本町は現在、人口減少という厳しい現実と直面しており、将来的な利用者の減少や施設の維持管理にかかるコストの増加など課題もあります。それ以外のスポーツ施設でも老朽化が見受けられ、ホテルドームや野球場などを含め、耐用年数を迎えた後のこともありますので、スポーツ施設全体の見直しが必要と考えております。	環境保全課 企画財政課 福祉課 教育課 商工観光課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
11	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治について	イスラエルがパレスチナの大虐殺を行っている。ナチス・ドイツが600万人のユダヤ人を虐殺したホロコーストだ。今回はホロコーストのガザ版だ。 アメリカのユダヤ系はアメリカ政治・経済・教育も支配している。戦争をさせ、武器を売る死の商人と呼ばれる所以である。新大統領となるトランプは中国に対し更なる経済制裁を強めるという。経済制裁も戦争の手段だ。 台湾海峡有事もハイになっていく。その現れが石垣島含む沖縄だ。戦争の準備が色濃くなる。その観点から、町長に伺う。 (1)世界戦争の実態、軍事訓練等からして町長の先読みはどうか。 (2)日本の中国に対する歴史的侵略は。 (3)放射性物質について「人体に影響を与える結果は出ていない」と答弁しているが、その根拠は。又、県内自治体順位でも、ガンの死者が平成19年に25位であったのが、平成25年には10位。最悪だ。何故、騙しをするのか。 (4)地区別のガン死者数を疫学調査すれば因果関係は明らかになる。何故実施しないのか。 (5)私は、町長のこれまでの答弁からして鳥島射爆撃場の対応は未秘の故意と捉える。また、本件について右肩上がりのガン死者数だが対応措置を取らなかったのは不作為だと擬律判断しているがどうか。	町長	(1)国防は国の専権事項であり、万が一にも有事が発生しないよう国において不断の外交努力を行うべきと考えております。 (2)日中間のこれまでの歴史的背景については、一般論として認識しております。 (3)(4)(5) 国は、平成9年から平成14年に実施した鳥島並びに久米島の陸域及び周辺海域における環境調査の結果、劣化ウランの影響は認められないことが確認されたとして、自然環境や住民の健康への影響がないと町及び町民に対して報告を行っております。また、町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射性物質の影響は無いものと考えております。	総務課
		2. 宇根・真謝の県道の街路樹管理について	(1)本件街路樹管理の所管課は。 (2)町が委託を受けているのであれば委託料は。 (3)街路樹の枝が車道にはみ出した場合の措置は。道路交通上の危険性等は。	町長	(1)県から管理委託を受け建設課が所管をしております。 (2)委託料は、令和6年度当初で22,500千円となっております。 (3)交通に支障のある街路樹については、県と相談の上対応しておりますが、予算の関係で対応できない場合があります。ご質問の区間についてはボランティアの協力で管理して頂いておりますが、必要な予算確保については県に要望し適正管理に努めてまいります。	建設課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 子ども議会での赤土対策の質問から	去る11月12日に「子ども議会」があった。子ども議員の質問の中で「赤土防止対策」の質問があった。町長は畑側にベチパー等の植栽をと答弁していた。私は何故、根源的原因を議論しないのかと思った。 (1)60年、70年前の河川、海と今とはどう違うのか。 (2)現在の三面コンクリート、U字溝はダイレクトに海へ赤土を流してサンゴ、モズク等の海藻を激減させている事と思うが。 (3)昔(以前)あった淡水の藻や雑草が赤土が吸い寄せ等の認識はあるのか。	町長	(1)1960年代の河川及び海の状況につきましては、本町での土地改良工事前で、水田が広がる農地であったことから河川及び海への赤土流出は少なかったものと思われます。 (2)サンゴ及びモズク等の激減につきましては、赤土が流出している現状もありますが、その他、地球温暖化に伴う海水温度の上昇など自然的環境も影響しているものと考えられます。赤土の流出が抑えられるよう、引き続き、防止板の設置やグリーンベルト設置など赤土流出対策に取り組んでまいります。 (3)赤土が流出し、白瀬川などの河川や河口付近に赤土が堆積しているのは承知しております。	産業振興課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	田端 努	1. 本町の地域防災計画見直しの進捗状況について	これまで自然災害などから本町町民皆様の生命・財産を守るためには、地域防災計画について見直しが必要ではないかと、数回にわたり質問させて頂いてまいりましたが、目に見える形での改善が見られないのではないかと感じます。本年は幸い大きな台風被害などはありませんでしたが、地震や津波の災害、最近では大雨による沖縄北部豪雨災害など、いつ何時災害が発生するのか予想がつきません。去る11月5日には本町の防災訓練が実施されましたが、地域防災計画の見直しと併せて、以下の点について質問させていただきます。 (1) 前回の質問時以降の地域防災計画見直しの進捗状況について伺います。 (2) 本町職員の防災士の有資格者人数と、今後の資格取得者を増やしていく計画、またその予算について伺います。 (3) 校区ごとに設置されている防災倉庫の設置位置の見直しと、備え付けの備蓄品や工具類などの備品の管理について伺います。 (4) 各地域の災害時における避難困難者(要支援者・要介護者等)の避難支援体制について伺います。 (5) 町民が防災グッズを購入する際、助成は出来ないか伺います。	町長	(1) 地域防災計画の見直しにつきましては、町民の防災意識に合わせ周知活動を継続するとともに、要支援者の支援整備を整えるため、関係機関と連携し避難支援個別計画の策定に向け取り組んでいるところでございます。 (2) 防災士の有資格者数については、7名となっております。資格取得につきましては、計画的な対応が可能かどうか関係部署と連携し検討してまいります。 (3) 防災倉庫につきましては、大規模災害を想定し復旧作業にも対応するため現在の位置に設置しております。今後においては、津波を想定し新たに防災倉庫を設置することで準備したいと考えております。また、資機材の維持管理については、定期的に点検業務を消防本部で実施しております。不具合等確認された場合、防災担当へ報告することとなっております。 (4) 災害時における避難困難者の取組につきましては、(1)と重複しますが、福祉課を中心に関係機関と連携しリスト作成を行いたいと考えております。 (5) 防災グッズの助成につきましては、優先順位を含め町民のニーズに合わせ対応できるか検討してまいります。	総務課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
10	新垣 幸子	1. 防災訓練について	去る11月5日に大地震・大津波避難訓練が実施されました。3点伺います。 (1)避難訓練参加者人数について、令和5年度が1,274名、4月3日は1,493名、今年は何名か伺います。 (2)令和5年度の訓練と4月3日に発生した台湾東部沖地震による津波避難の反省を踏まえて今回の訓練について新たな取り組みがあったか、伺います。 (3)どのような課題がありましたか。	町長	(1)訓練参加者人数については、1,591人となっております。 (2)4月に発生しました台湾東部沖地震の対応を踏まえ、基本徒歩での移動としておりますが、車移動もある程度想定し、混雑が予想される箇所については、配置要員を増員しスムーズな避難誘導ができるよう対応しました。また、関係機関においても対策本部への招集も実際に警報発令後に移動するなどより本番に近い状況で実施することができました。 (3)訓練の課題としましては、災害の発生状況に応じて様々なパターンを準備しておく必要があることから、職員の配置について地域毎に割り振ることや、訓練の時間帯を夜間及び休日を実施するなど、より実践に即した訓練を計画できればと考えております。	総務課
		2. 南西諸島軍事要塞化の動きについて	沖縄の島々で軍事拠点化が着々と進められています。今後注視していく必要があるが、ここで2点伺います。 (1)日米共同統合演習「キーン・ソード25」が国内で10月23日～11月1日に実施されたが、島内の基地においてどのような訓練が実施されたか、分かる範囲内でお答え願います。 (2)昨年10月17日に内閣府の職員が来島し公共インフラ整備について空港や港湾の説明がありましたが、その後何か動きがあったか、伺います。	町長	(1)日米共同統合演習「キーン・ソード25」につきましては、10月23日から11月1日の期間において、航空自衛隊久米島分屯基地内において訓練を実施するとの情報提供がございましたが、訓練内容については陸上作戦を実施するとのことで、詳しい内容については把握しておりません。 (2)公共インフラ整備につきまして、新たな情報は入っておりません。	総務課
		3. 高校魅力化事業と考える会の運営について	10月30日～31日に島根県隠岐郡海士町の行政視察研修に参加しました。12年ぶりの海士町！やはり進化し続けていることにとても感銘を受けました。さて、当町において今後の高校魅力化事業や考える会の運営については喫緊の課題です。海士町では「一般財団法人島前ふるさと魅力化財団」を立ち上げ幅広く事業展開していました。当町においても、この財団立ち上げと専門の高校コーディネーターの配置を強く要望したいがご見解を伺います。	町長	島根県の海士町におかれましては、民間が持続可能な仕組みづくりを構築した点で進化し続けていると認識しております。一方、本町では、民間主導で始まった高校魅力化事業の取り組みであります。現時点では行政主導とならざるを得ない状況にあります。 教育の魅力化が高校だけでよいのかなどの意見もありますので、考える会の在り方も含め、今後の取り組み方について関係者間で協議を行ってまいりたいと思います。	企画財政課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		4. PPP導入可能性調査事業について	本事業は、国や地方公共団体が民間事業者の技術やノウハウを活用して公共事業を行うPPP事業を導入するかどうかを判断するために実施される調査です。当町において、国土交通省の先導的官民連携支援事業を活用し、官民連携して取り組むための条件整理や実施方法の検討を行っている状況です。PPP、PFIにおける事業パートナー制度に関する勉強会もこれまで実施されました。ここで2点伺います。 (1)現在の進捗状況について。 (2)これまでの勉強会においてPPP、PFIの基本説明やいくつかの成功事例が紹介されていました。このPPP、PFI事業の実施判断について、徹底した研究と慎重さが必要と考えています。これらのことから、失敗事例や問題点を研究されている専門家を招聘して勉強会を実施してはいかがでしょうか、お伺いします。	町長	(1)先導的官民連携事業の進捗状況としては、10月31日に公募要領等を公表し、11月29日の参加表明期限までに数社から参加表明書が提出されています。今後、参加資格審査を経て、令和7年1月31日を期限に企画提案書の提出受付を行います。その後、2月中旬に外部の有識者を中心に構成する選定委員会において事業パートナー選定に向けたプレゼン審査会を行い、年度内を目途に事業パートナーを選定してまいります。 (2)現在の取り組みが順調に進捗した場合、次年度は事業パートナーに選定された民間企業との基本協定を締結したうえで、事業手法、事業スケジュール、事業費用等に関する詳細協議が行われます。その際、本町にとって最良の選択が進めるよう、専門的な知見を取り入れながら協議を進める必要があると認識しております。PPP、PFI事業に関する勉強会についても、今回の先導的官民連携事業を推進していく中で開催を検討してまいります。	商工観光課
		5. 猫の繁殖抑制事業について	本事業が実施されて約5年になります。島民ボランティアの方々を中心に行政が一体となって取り組んでおられることに心から感謝申し上げます。少しずつ効果は出ていますが、一部の方々の御協力が得られないため、元の状況にもどるのではと心配しています。 ここで提案ですが、町民全体の意識向上には、町のガイドラインを作成してホームページへ掲載することや広報、FMラジオで周知することが重要になります。 「所有者」、「野良猫」、「地域猫」の定義が入った猫の飼養についてのガイドラインを早めに作成していただきたいですが、ご見解を伺います。	町長	猫に関する様々な問題につきましては、町民ボランティア及び地域の積極的な協力により猫の繁殖抑制事業及び適正飼育を啓発する活動が行われ、効果も出始めておりますが、活動を続けていく上での課題もあります。 現在、FM放送での周知や広報誌による啓発記事を令和5年4月号より毎月掲載するなど、適正飼育に対する情報発信を行っておりますが、今後、他地域の事例も参考に本町にあったガイドラインの作成に取り組んでまいります。	環境保全課
		6. 離島甲子園について	離島甲子園の提唱者の想いは「野球を通じて交流することでスポーツの垣根を越えて健全な育成促進の目的と島の活性化に寄与する存在になってくれることを願うこと」であります。 去る9月22日の報告会において参加した生徒の声を聞いた時に胸が熱くなり、同時に心身ともに大きく成長していることに感銘を受けました。 今後の人材育成や島の活性化の原動力となる点から、来年以降、是非とも運営費の予算化を要望したいですがご見解を伺います。	町長	離島甲子園は、島外との交流機会の少ない本町の子どもたちに交流の機会を設けることを目的に、令和元年度までは公費にて事業を実施してまいりました。 今後は、事業目的、事業の位置付け等の整理を行いながら、どのような支援ができるか検討してまいります。	教育課 企画財政課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	保久村 登	1. 仲里幼稚園再開準備作業について	(1) 仲里幼稚園再開のためにどのような作業が必要か、またそれらの作業はいつまでに完了しておく必要があるか、明示していただきたい。 (2) 上記各作業の準備状況を明示していただきたい。 (3) 上記準備作業の遅滞等により仲里幼稚園再開に支障が生じた場合、教育委員会及び教育長にどのような責任が生じるか、教育委員会の見解を伺いたい。	教育長	(1)(2)(3) 令和7年度の幼稚園及び・預かり保育の申込み受付を令和6年11月20日から12月13日の期間にて実施するとともに、12月2日から会計年度任用職員の公募を開始いたします。 幼稚園及び預かり保育の申込み状況により、入園者数及び預かり利用者数を把握し、それに対応すべく人員確保に努め、子どもたちの安全確保を第一に、安心して学べる教育環境の充実を図ってまいります。	教育課
		2. 老人福祉問題について	久米島町老人クラブ連合会(久老連)に対する支援策について 老人福祉法13条によれば、1項で「地方公共団体は、老人の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクレーションその他広く老人が自主的かつ積極的に参加することができる事業を実施するよう努めなければならない」と規定し、2項で「地方公共団体は、老人の福祉を増進することを目的とする事業の振興を図るとともに、老人クラブその他当該事業を行う者に対して、適当な援助をするように努めなければならない」と規定している。 これを受けてほとんどの地方公共団体は、事務局事務を自ら行い(豊橋市・長寿介護課)、あるいは社会福祉協議会の支援を得て行っている。久老連の事務局事務も、これまで社会福祉協議会の支援を得て行っていた。しかし、令和6年度に入って、社会福祉協議会の支援が打ち切られたようである。 また、コロナ発生前に開催されていた町主催の敬老会も、コロナ終息後に至っても再開されず、高齢者層を落胆させている。 そして、老人クラブ加入者が激減する状況が続き、活動を休止する単位クラブも続出し、今年度は、本町屈指の規模を誇っていた老人クラブが活動を休止する事態も発生している。 そこで、次の点について、町長の見解を伺いたい。 (1) 町のホームページで、老人クラブの紹介をし、加入を勧めること(長崎市HP参照)。 (2) 町自ら、又は社会福祉協議会を介して、久老連の事務局事務の支援を再開すること。 (3) 町主催の敬老会を再開すること。	町長	(1) 高齢者のインターネット利用は増加していますが、若い世代に比べると依然として低い傾向にあり、70代で約70%、80代以上で利用率は約30%程度に下がります。また、効果的な周知方法という観点からみるとホームページのみならず、SNSとの組み合わせも求められます。デジタルリテラシーの向上を図ることや高齢者家族や介護者による支援体制も含めた取り組みも必要となってきます。地域の高齢者のデジタル活用に対する意識を把握した上でホームページ等の活用を考える必要があるものと考えます。 (2) 役場、社会福祉協議会において業務量に対する人員不足が加速しています。それぞれにおいて、業務の見直しが急務となっております。 久米島町老人クラブ連合会への支援につきましては、老人クラブ連合会の目的や目標、課題を会員全員で共有されたのち、支援の必要性を社会福祉協議会を含め、協議してまいります。 (3) 町主催の敬老会の再開につきましては、外出が難しい方がおり人手の確保が出来ず参加ができないなど多くの自治体で見直しする傾向になっています。高齢化の加速、社会情勢の変化もあり、以前考えられていたお祝いなどの場ではなく、高齢者の地域とのつながりや健康を維持するための重要な機会とする場に変化しており、世代間交流を促進するなど、あり方の変化が求められていますので、すでに住民主体で行われている活動を活かした取り組みを推進してまいります。	福祉課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
2	富永 肇	1. 人口減少について	国立研究所の推計によると2050年、本町の人口が現在 約7,120名から4,520名と予想され減少率は－37.2%で県内、自治体ワースト2位である。人口減少や少子高齢化の克服に向けた取り組みを着実に推進しなければなりません。「定住人口」「関係人口」「交流人口」の取り組みが重要と考えます。この3点に対して具体的な取り組みがあるか伺います。	町長	ご存じのとおり人口減少及び少子高齢化は国全体の大きな社会問題となっております。政府においては緩やかな人口減少社会を目標としており、本町においても、現行総合計画及び総合戦略に組み込みの方向性を示したところです。具体的な取り組みは基本計画に示した施策の展開に対して取り組むこととしており、著しく変わる社会情勢にも対応した不断的努力も重要と考えております。	企画財政課
		2. 離島留学制度について	去る10月30、31日に島根県海士町で視察研修を行いました。本町の離島留学制度は海士町の離島留学制度を参考に組み組みを行い現在に至ります。海士町の離島留学制度は魅力化コーディネーターが中心となり、行政、学校、地域の連携が構築されていると感じました。本町も連携の強化が大事だと考えます。連携への見解と今後の新たな取り組み計画はあるか伺います。	町長	島根県海士町の取り組みは、本町でも参考にさせていただきました。 高校魅力化事業では社会に開かれた学校をつくるという考えのもと、魅力化コーディネーターの果たす役割は非常に大きいものがあります。 本町でも平成25年度から魅力化コーディネーターを配置しておりますが、現状では、魅力化コーディネーター中心に運用することは荷が重いと思っており、行政と共に活動し、地域及び学校において出来そうなことを模索しながら取り組んでいるのが現状であります。	企画財政課
		3. マイナンバーカードについて	令和6年12月2日以降は現行の健康保険証の新規発行が停止となる(原則廃止) マイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みに一本化されます。マイナ保険証となります令和7年3月にはマイナンバーカードと自動車運転免許証が一本化となり「マイナ免許証」として運用開始します。マイナンバーカードへの理解と普及促進を行うものと考えます。現在本町の保有枚数率とどのような普及活動や周知活動を行っているか伺います。	町長	本町のマイナンバーカード保有枚数率は令和6年10月31日現在、66.4%となっております、普及・周知活動としては、マイナンバーカード取得促進事業を活用した商業施設等での出張申請やFM久米島による情報発信等、保有枚数率向上に向けた取組を実施しております。	町民課

令和6年12月 議会 一般質問

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
3	喜久里 猛	1. 阿嘉のヒゲ水について	この地は20数年水が枯れているが、いつ復活するか。又、県道との関係は結論が出ているか。	教育長	県道との因果関係は、分かっていませんが、聞き取り調査により、以前、ひげ水崖の近くに下阿嘉集落の取水井戸があって、水道の普及により使われなくなった為というお話も聞いておりますので、まずは現場の確認をしております。また、今期の冬場を通して、ひげ水の出現回数を調査する事としておりますので、その結果も踏まえつつ、今後の対策を検討したいと考えています。	博物館
		2. 旧下阿嘉集落の歴史遺産について	現在この場所は草木に覆われているが、各家の石垣の保存状態は良好である。歴史遺産として保存する必要があると思うがどうか。	教育長	保存上の手段の一つとして、文化財指定がありますが、昭和39年、当時の移転理由となった台風被害、及び崖崩れの危険性等を考慮すると、文化財指定に伴う、その地域への公費の投入、また、町民・観光客の誘致については、慎重を期さなければならぬと考えています。	博物館
		3. アメリカスズメウリについて	一昨年あたりから山城・嘉手苅・兼城・大田・仲泊・西銘等を中心にアメリカスズメウリの生息が急速に広まっている。今のうちに政治的な判断で全滅してもらいたいと考えるが、町の見解は。	町長	アメリカスズメウリにつきましては、つる性の外来種で島内複数個所で繁殖が確認されております。先日、きび農家の皆様には雑草対策への注意喚起を行ったところではありますが、アメリカスズメウリの防除には除草剤での対策が必要となります。キビの収穫後の株出し及び春植え時の適切な時期での除草剤散布を農家に周知してまいります。	産業振興課